

令和5年度 事業報告書

(自) 令和5年4月 1日 (至) 令和6年3月 31日

1 法人の概要

主たる事務所の所在地 新潟市西区みずき野1丁目6番11号	電話番号 025 (211) 8660	代表者氏名 佐藤 隆
法人許可年月日 昭和50年8月29日	法人許可番号 厚生省社第800号	設立登記年月日 昭和50年9月30日

2 法人の行う事業

※職員数は令和6年3月1日現在

事業名	拠点名	実施サービス名	代表役職・名	職員数
社会福祉事業	本部		本部長 海老郁夫	職員 13名
	障害者支援施設 新潟みずほ園	施設入所支援 50名 生活介護 60名 短期入所 4名・日中一時支援 2名	施設長 田中 順	職員 47名 嘱託医 1名
	障害者支援施設 みのり園	施設入所支援 50名 生活介護 60名 短期入所 4名・日中一時支援 4名	施設長 瀧澤千代美	職員 45名 嘱託医 1名
	障害者支援施設 第2みずほ園	施設入所支援 50名 生活介護 60名、 短期入所 4名・日中一時支援 3名	施設長 関谷愛子	職員 44名 嘱託医 1名
	工房はたや	就労支援事業B型 20名 生活介護 10名 日中一時支援 2名	所長 田中敦子	職員 8名 嘱託医 1名
	わぁ〜らく	指定特定相談支援 指定一般相談支援 指定障がい児相談支援 新潟市委託相談支援	管理者 多賀邦夫	職員 8名
	榎の木	もみじ 7名 あじさい 6名 CHみずき野壺番館 7名 CHみずき野式番館 5名 さくら壺番館 6名 さくら式番館 6名 さくら参番館 6名	管理者 瀧澤千代美	職員 25名
	みっと	居宅介護、同行援護、行動援護 新潟市移動支援	管理者 多賀邦夫	職員 4名
	おおらい	生活介護 20名 日中一時支援 3名	管理者 小西幸弘	職員 6名 嘱託医 1名

3 評議員・役員等の状況

役職名	氏名	現就任年月日	備考
評議員	村山六郎	令和3年6月24日	
評議員	真島福一	令和3年6月24日	
評議員	大嶋喜芳	令和3年6月24日	
評議員	小林建	令和3年6月24日	
評議員	長井正雄	令和3年6月24日	
評議員	吉田和弘	令和3年6月24日	
評議員	田中滋世	令和3年6月24日	
理事	佐藤隆	令和5年6月27日	理事長
理事	和田晋弥	令和5年6月27日	
理事	野澤慎吾	令和5年6月27日	
理事	海老郁夫	令和5年6月27日	常務理事
理事	多賀邦夫	令和5年6月27日	
理事	田中順	令和5年6月27日	
監事	鈴木昭	令和5年6月27日	
監事	大原利光	令和5年6月27日	

4 事 業 概 要

当法人は、障害者支援施設「新潟みずほ園」、「みのり園」、「第2みずほ園」、就労継続支援・生活介護「工房はたや」、共同生活援助「樫の木」、相談支援「わぁ〜らく」、居宅介護・移動支援「みっと」、生活介護「おおい」を運営し、在宅障がい児者の短期入所及び日中一時支援など障がい者福祉の増進に寄与してきた。

令和5年度における主な業務の実施状況は、次のとおりである。

〔新潟みずほ福祉会〕

- 1 理事会を6回、評議員会を1回開催した。(資料参照)
- 2 令和5年3月7日に行われた一連の虐待事案に対する「業務管理体制特別検査」による「改善勧告に伴う取組状況」について、令和5年6月から令和6年3月までの計10回(毎月25日を期限)市役所に出向き、取組状況の報告を行った。
- 3 引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行った。5月の5類移行後もマスクの着用や罹患時の有給対応などを継続した。
- 4 9/24みずほ福祉会祭りを4年ぶり開催し、300名ほどの参加者であった。
- 5 8/21「第2みずほ園大規模修繕工事」入札。(株)近藤組が5500万円で落札。
- 6 職員関係
入退職者数：採用者数35名、退職者数27名
懲戒処分：4件(出勤停止1・訓戒1・減給2)
- 7 能登半島地震関係
被害状況：新潟みずほ園「屋根亀裂雨漏り」
みのり園「浴室タイル剥がれ」「ガラスひび割れ」
第2みずほ園「トイレ棟入りロエキスパンション段差」「水道管水漏れ」
「屋外分電盤傾き」
工房はたや「職員玄関ドアゆがみ」「基礎部分亀裂」「室内クロス亀裂」
樫の木「浴室給水管水漏れ」「室内クロス亀裂」
総合支援センター「トイレ給水管水漏れ」「室内クロス亀裂」
1/10 日本赤十字社へ義援金10万円送金
1/31 真柄福祉財団様よりお見舞金20万円ご寄付いただく
- 8 利用者の健康管理のため、嘱託医等による健康診断を実施した。
- 9 職員の健康診断を新潟県けんこう財団により実施した。(直接処遇職員は年2回)
- 10 日本歯科大学新潟病院の協力を得て、新潟みずほ園、みのり園及び第2みずほ園の利用者の歯科検診と診療を実施した。
- 11 10月より人事評価制度の運用を開始した。
- 12 地域における公益的取組
 - ・新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会
 - ・にいがたセーフティネット事業
- 13 社会貢献活動
 - ・講師派遣(行政、社会福祉協議会、各種福祉機関研修)
 - ・行政、地域福祉団体等の委員就任
 - ・施設開放、地域行事協賛等
- 14 本年度の苦情申し立て：第2みずほ園で1件受理した。

5 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会

日時及び場所	審議事項
令和 5. 4. 27 10 : 00 ~11 : 00 総合支援センター	1 指導監査および実地指導、特別検査における改善状況報告書 2 給与規程の一部改正 3 わぁ〜らく運営規程の一部改正 4 本部規程の一部改正 5 特定個人情報取扱規程の一部改正 6 公益通報者保護規程の一部改正
令和 5. 6. 9 10 : 00 ~11 : 00 総合支援センター	1 令和 4 年度事業報告 2 令和 4 年度決算書類 3 理事監事候補者推薦書 4 櫛の木運営規程の一部改正 5 令和 5 年度第 1 次補正予算 6 第 2 みずほ園大規模修繕事業に係る実施及び入札 7 評議員会の招集
令和 5. 6. 27 11 : 00 ~11 : 30 総合支援センター	1 理事長の選定 2 常務理事の選定 3 法人中長期計画
令和 5. 9. 29 10 : 00 ~10 : 30 総合支援センター	1 令和 5 年度第 2 次補正予算 2 就業規則の一部改正 3 継続雇用職員契約取扱要領の一部改正
令和 5. 12. 21 10 : 00 ~10 : 30 総合支援センター	1 令和 5 年度第 3 次補正予算 2 評議員選任・解任委員会委員の選任
令和 6. 3. 15 10 : 00 ~11 : 00 総合支援センター	1 令和 5 年度第 4 次補正予算 2 令和 6 年度事業計画 3 令和 6 年度収支予算 4 就業規則の一部改正 5 給与規程の一部改正 6 おおらい運営規程の一部改正

(2) 評 議 員 会

日時及び場所	審 議 事 項
令和 5. 6. 27 10 : 00 ~ 11 : 00 総合支援センター	1 令和 4 年度計算書類の承認 2 新役員の選任

〔新潟みずほ園〕

- 1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。
障害支援区分：区分 6～41名・区分 5～9名 区分 4～1名 平均区分：5.8
利用率：施設入所支援99.3%・生活介護93.8%・短期入所56.6%
- 2 利用者の動向
退所5名(医療機関1名 他施設1名 死亡3名)、入所2名(令和6年4月に入り3名入所)
利用者の年齢は平均61歳11ヶ月(男性63歳1ヶ月、女性60歳8ヶ月)
最年少35歳、最年長86歳で、65歳以上の方は24名となっている。
- 3 令和5年度の取り組み
 - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) インシデント・アクシデント報告を基にした、リスクマネジメント(安全対策)と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
 - (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
 - (4) 栄養ケア計画に基づき食の安全、嗜好、季節感に配慮し食生活の充実に努めた。
 - (5) 潤いのある生活構築のため、余暇支援、各種行事を適宜実施した。
 - (6) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
 - (7) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
 - (8) 利用者の権利擁護の視点から、身体拘束軽減、行動制限廃止に努めた。
 - (9) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。
 - (10) BCP(業務継続計画)の作成
- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。
 - (1) 建て替えに向けて国庫補助申請を行ったが採択されなかった。
 - (2) 自動分割分包機購入 797,500円
 - (3) LABOT(家庭型AIロボット)購入 648,096円
 - (4) オミビスタ(人の動きに反応する映像装置)購入(家族会様より寄付) 2,102,650円
 - (5) 小型除雪機購入(真柄福祉財団様より助成) 443,000円
- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
 - (1) 短期入所・日中一時支援等受け入れ状況
 - ① 短期入所 延べ 829名
 - ② 日中一時支援 延べ 12名
 - (2) 災害等特例入所者 延べ 365名
 - (3) 実習生受け入れ 5名 延べ 74日
 - (4) ボランティア受け入れ状況 延べ 48名
 - (5) 地域行事への参加、地域学校との交流
 - (6) 職員の講師派遣
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議への参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。
- 7 感染症対策として次のことを行った。
 - (1) 感染発生時に備え、感染対策用品の整備を行った。
 - (2) 職員はマスクの装着、手指消毒などの感染対策を徹底した。
 - (3) 3月中旬、新型コロナウイルスの感染拡大によりクラスターが発生した。利用者9名、職員20名の計29名が感染し、和楽荘や個室にて感染者の対応をした。
- 8 苦情の受付

ありませんでした。

事業概要

1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場 所	参加者	人数
令和 5. 6. 27	県身協オセロ交流会 (下越地区)	新潟ふれあいプラザ	利用者、職員	5名
8. 30	夕 涼 み 会	園 内	利用者、職員	76名
9. 24	みずほ福社会まつり	三 園	利用者、家族、職員	300名
10. 18	県身協スポーツ交流会 (下越地区)	新潟ふれあいプラザ	利用者、職員	5名
10月	親子三代ふれあい会	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
12. 27	忘 年 会	園 内	利用者、職員	78名
令和 6. 1. 17	新 年 会	園 内	利用者、職員	75名

※国民の年中行事にちなんだ食事を提供した

2 検診等の実施状況

実施日	検診内容	場 所	対象者	人数	検診機関
令和 5. 4 月 ～6 月	職員定期健康診断	新潟健診プラザ 第2みずほ園	職 員	46名	新潟県けんこう財団
令和 5. 7 月 ～8 月	胸部 X 線間接撮影	西蒲中央病院 他	利 用 者	51名	西蒲中央病院 他
5. 17	生活習慣病予防検診	園 内	利 用 者	51名	嘱託医
5. 24	歯 科 検 診	園 内	利 用 者	26名	日本歯科大新潟 歯学部歯科医師
6 月 9 月	コロナワクチン接種⑥ コロナワクチン接種⑦	園 内	65 歳以上 の利用者	24名 24名	嘱託医
6 月 10 月	コロナワクチン接種⑥ コロナワクチン接種⑦	園 内	65 歳未満 の利用者	26名 26名	嘱託医
6. 29 12. 5	内 科 検 診	園 内	利 用 者	51名 51名	嘱託医
11. 1	インフルエンザ 予 防 接 種	園 内	利 用 者 職 員	51名 43名	嘱託医
12. 7	職員定期健康診断	第2みずほ園	直接処遇 職 員	28名	新潟県けんこう財団

3 防災訓練等の実施状況

(1) 避難訓練

実施日時	訓練種別	所要時間	参加者及び人数	避難場所
令和 5. 5. 10 10:30～	総合避難訓練 (通報訓練・消火訓練・避難訓練)	19分 55秒	利用者 39名 職員 6名	第一避難場所 (職員駐車場)
6. 18 10:15～	三園合同避難訓練 (夜間火災想定) 地元消防団立会い	15分 17秒	利用者 38名 職員 14名	第一避難場所 (職員駐車場)
11. 11 10:30～	三園合同避難訓練 (日中火災想定) 消防署立会い	10分 14秒	利用者 34名 職員 11名	ふれあいルーム

(2) 火災通報装置・火災一斉メールによる通報訓練

実施日時	所要時間	備考
令和 5. 5. 10 10:30～	17時間以内の返信者 39名	事前連絡あり
12. 3 15:00～	17時間以内の返信者 27名	事前連絡なし
令和 6. 1. 24 14:30～	17時間以内の返信者 21名	事前連絡なし

(3) その他

実施日時	訓練種別	参加者及び人数	備考
令和 5. 4. 13, 20 15:30	防災研修	職員 4名	消防設備説明
7. 26 14:10～	防災研修	職員 5名	消火器取扱訓練
8. 24 15:00～	放水訓練	職員 3名	屋内消火栓使用
10. 18 10:10～	水害避難訓練	職員 8名	水害時の手順、避難方法の確認
10. 22 15:00～	防災研修	職員 3名	消防設備説明
令和 6. 1. 10 15:00～	防災研修	職員 35名	YouTube 視聴 (大地震が来たら)
2. 23 15:00～	防災研修	職員 3名	消防設備説明

[みのり園]

- 1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。
障害支援区分：区分6～41名、区分5～8名、区分4～1名 平均区分：5.8
利用率：施設入所支援 95.6%・生活介護 89.4%・短期入所 82.5%
- 2 利用者の動向
退所 0名 入所：0名
利用者の年齢は平均 50歳8ヶ月（男性 48歳5ヶ月、女性 52歳10ヶ月）
最年少 22歳7ヶ月、最年長 84歳11ヶ月で、65歳以上の方は 12名となっている。
- 3 令和5年度の取り組み
 - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) インシデント・アクシデント報告を基にしたリスクマネジメント（安全対策）と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
 - (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
 - (4) 栄養ケア計画に基づき食の安全、嗜好、季節感に配慮し食生活の充実に努めた。
 - (5) 潤いのある生活構築のため、余暇支援、各種行事を適宜実施した。
 - (6) 日中活動として、歩行、運動、アルミ缶プレス、農園芸、創作活動を実施した。
 - (7) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
 - (8) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
 - (9) 利用者の権利擁護の視点から、身体拘束の軽減、行動制限廃止に努めた。
 - (10) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。
 - (11) BCP（業務継続計画）の作成
- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。

(1) コンデンサ交換工事	297,000円
(2) 排水ポンプ取替工事	270,600円
(3) 受水槽修理	310,000円
(4) 医務室扉取付	198,000円
(5) 庇漏水修繕	1,589,500円
(6) オミビスタ購入	2,101,000円
(7) 受水槽修理	310,000円
(8) 外壁修繕	803,000円
(9) エアコン清掃	242,000円
- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
 - (1) 短期入所・日中一時支援の受け入れ状況
 - ① 短期入所 延べ 1,474名
 - ② 日中一時支援 延べ 333名
 - (2) 実習生の受入れ状況 19名 延べ 94名
 - (3) ボランティアの受入れ状況 12名（新潟大学吹奏楽部・県友会）
 - (4) 地域行事への参加、地域学校との交流
 - (5) 職員の講師派遣（県主催の研修）
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議への参加を推進し、専門知識技能の習得に努めた。
- 7 感染症対策として次のことを行った。
 - (1) 感染発生時に備え、感染対策用品の整備を行った。

- (2) 職員はマスクの装着、手指消毒などの感染対策を徹底した。
- (3) 3月中旬、新型コロナウイルスの感染拡大によりクラスターが発生した。(利用者8名、職員9名の計17名)

8 新潟市への通報事案

- ・令和5年4月 利用者の頭をたたくなどの暴行

事業概要

1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場 所	参加者	人数
令和5.4月	お花見	屋 外	利用者、職員	69名
7.2	レクリエーション交流会	園 内	利用者、職員	50名
7.7	七夕(創作活動・合唱)	園 内	利用者、職員	56名
7.31	お楽しみ会(カラオケ)	園 内	利用者、職員	45名
9.24	みずほ福祉会まつり	三 園	利用者、職員、家族	300名
12.22	クリスマス忘年会	園 内	利用者、職員	74名
令和6.1.9	新 年 会	園 内	利用者、職員	56名
2.2	節 分	園 内	利用者、職員	63名

※国民の年中行事にちなんだ食事を提供した

2 検診等の実施状況

実施日	検診内	場 所	対象者	人数	検診機関
令和5.5.8	利用者健康診断 胸部X線間接撮影	園 内	利用者	46名	新潟県けんこう財団
4月～6月	職員定期健康診断	新潟健診プラザ 第2みずほ園	職 員	41名	新潟県けんこう財団
6.13～7.19	コロナワクチン接種⑥	園 内	利用者	44名	嘱託医
7.21	内 科 検 診	園 内	利用者	46名	嘱託医
10.4	歯 科 検 診	園 内	利用者	26名	日本歯科大新潟 歯学部歯科医師
11.15	内 科 検 診	園 内	利用者	48名	嘱託医
12.7	インフルエンザ 予 防 接 種	園 内	利用者 職 員	49名 41名	嘱託医
12月	職員定期健康診断	新潟健診プラザ 第2みずほ園	直接処遇 職 員	30名	新潟県けんこう財団

3 防災訓練等の実施状況

(1) 避難訓練

実施日時	訓練種別	所要時間	参加者および人数	避難場所
令和5.5.28 10:10 ～	夜間想定火災避難訓練	9分58秒	利用者44名・職員5名	デイルーム
6.18 10:20～	三園合同避難訓練 (夜間火災想定) 地元消防団立会い	9分04秒	利用者46名・職員4名	デイルーム
11.11 10:30～	三園合同避難訓練 (日中火災想定) 地元消防団立会い	10分30秒	利用者45名・職員7名	デイルーム
令和6.2.18 9:00～	地震避難訓練	5分35秒	利用者43名・職員5名	各居室(模擬)
3.24 10:00～	日中想定避難訓練	7分37秒	利用者49名・職員5名	デイルーム

(2) 火災通報装置・火災一斉メールによる通報訓練

実施日時	所要時間	備考
令和5.6.18 10:10～	指定時間以内返信者26名	事前連絡あり
12.13 15:30～	指定時間以内返信者11名	事前連絡あり

(3) その他

実施日時	訓練種別	参加者及び人数	備考
令和5.4.30 9:00～ 5.8 9:00～ 5.16 9:00～ 10.20 9:00～ 10.28 9:00～ 11.1 9:00～ 11.2 9:00～ 11.3 9:00～	防災研修	職員3名 職員1名 職員1名 職員1名 職員2名 職員1名 職員2名 職員1名	防災機器取扱説明
6.7 13:00～ 7.21 9:00～ 7.31 9:00～	消火器訓練	職員2名 職員5名 職員2名	消火器の使用方法の説明と水消火器を使用
8.27 15:00～	放水訓練	職員2名	消火栓を全壊し放水
令和6.1月	防災研修	職員42名	防災に関する動画視聴

[第2みずほ園]

- 1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。
障害支援区分：区分6～43名・区分5～4名・区分4～3名 平均区分：5.8
利用率：施設入所支援 94.9%・生活介護 86.3%・短期入所 66.8%
- 2 利用者の動向
退所3名(医療機関1名 死亡2名)、入所 3名
利用者の年齢は平均56歳4ヶ月(男性56歳5ヶ月、女性56歳3ヶ月)
最年少23歳9ヶ月、最年長は74歳0ヶ月、65歳以上は16名となっている。
- 3 令和5年度の取り組み
 - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) インシデント・アクシデント報告を基にしたリスクマネジメント(安全対策)と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
 - (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
 - (4) 栄養ケア計画に基づき、食の安全、嗜好、季節感に配慮し、食生活の充実に努めた。
 - (5) 潤いのある生活構築のため、余暇支援、各種行事を適宜実施した。
 - (6) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
 - (7) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
 - (8) 利用者の権利擁護の視点から、身体拘束軽減、行動制限廃止に努めた。
 - (9) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。
 - (10) BCP(業務継続計画)の作成
- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。
 - (1) 大規模修繕(排煙設備の工事、313号室の遮音化、居室床の張替え) 60,500,000円
 - (2) 浴室系統、廊下系統、居室(5部屋)、トイレ(1か所)空調機入替 6,930,000円
 - (3) リフター4台 1,840,000円
 - (4) プレイルームカウンター 415,800円
 - (5) 分包機購入 869,000円
 - (6) LABOT(家庭型AIロボット) 648,096円
 - (7) 車椅子用体重計 154,000円
- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
 - (1) 短期入所・日中一時支援受け入れ状況
 - ① 短期入所 延べ 978名
 - ② 日中一時支援 延べ 0名
 - (2) 実習生受け入れ状況 22名 延べ 124名 (インターンシップ 4名 延べ 4日)
 - (3) ボランティア受け入れ状況 33名 延べ 57名
 - (4) 地域行事への参加、地域保育園・学校との交流
 - (5) 職員の講師派遣
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議への参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。
- 7 感染症対策として次のことを行った。
 - (1) 感染発生時に備え、感染対策用品の整備を行った。
 - (2) 職員はマスクの装着、手指消毒などの感染対策を徹底した。
 - (3) 新型コロナウイルス感染症に8月4名、2～3月5名の利用者が感染したが、ゾーニング対応にて感染拡大には至らなかった。

8 苦情の受付

- ・女性利用者から女性支援員に対して、支援に関する苦情 1件

事業概要

1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場 所	参加者	人数
令和 5. 6. 27	県身協オセロ交流会 (下越地区)	新潟ふれ愛プラザ	利用者、職員	5名
8. 30	納 涼 会	園 内	利用者、職員	58名
9. 24	みずほ福社会まつり	三 園	利用者、家族、職員	300名
10. 18	県身協スポーツ交流会 (下越地区)	新潟ふれ愛プラザ	利用者、職員	9名
10月	親子三代ふれあい会	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
12. 20	忘 年 会	園 内	利用者、職員	69名
令和 6. 1. 24	新 年 会	園 内	利用者、職員	71名

※国民の年中行事にちなんだ食事を提供した

2 検診等の実施状況

実施日	検診内容	場 所	対象者	人数	検診機関
令和 5年 4～6月	職員定期健康診断	新潟健診プラザ 第2みずほ園	職 員	42名	新潟県けんこう財団
5. 10～11	生活習慣病予防検診	園 内	利 用 者	44名	嘱託医
6. 2	内 科 検 診	園 内	利 用 者	44名	嘱託医
7月	コロナワクチン接種⑥	園 内	65歳以上の利用者	11名	嘱託医
7月	コロナワクチン接種⑥	園 内	65歳未満の利用者	33名	嘱託医
8～9月	胸部X線間接撮影	西蒲中央病院	利 用 者	36名	西蒲中央病院
9. 6	歯 科 検 診	園 内	利 用 者	33名	日本歯科大新潟 歯学部歯科医師
10. 20	肺炎球菌予防接種	園 内	利 用 者	2名	嘱託医
11. 22	インフルエンザ 予 防 接 種	園 内	利用者 職 員	47名 34名	嘱託医
12月	コロナワクチン接種⑦	園 内	65歳以上の利用者	15名	嘱託医
12月	コロナワクチン接種⑦	園 内	65歳未満の利用者	30名	嘱託医

12月	職員定期健康診断	新潟健診プラザ 第2みずほ園	直接処遇 職員	27名	新潟県けんこう財団
令和6.1.16	内科検診	園内	利用者	47名	嘱託医

3 防災訓練等の実施状況

(1) 避難訓練

実施日時	訓練種別	所要時間	参加者及び人数	避難場所
令和5.5.27 14:30～	日中想定避難訓練	9分50秒	利用者・職員54名	第1避難場所
6.18 10:10～	三園合同避難訓練 (夜間火災想定) 地元消防団立会い	13分00秒	利用者・職員42名	第1避難場所
9.30 14:00～	水害避難訓練	10分50秒	利用者・職員57名	各居室・食堂
11.11 10:30～	三園合同避難訓練 (日中火災想定) 消防署立会い	8分50秒	利用者・職員51名	ひまわり通り廊下
令和6.2.10 14:30～	地震避難訓練	9分50秒	利用者・職員54名	ひまわり通り廊下

(2) 火災通報装置・火災一斉メールによる通報訓練

実施日時	所要時間	備考
令和5.6.18 10:10～	指定時間以内の返信者 15名	事前連絡あり
12.13 15:30～	指定時間以内の返信者 28名	事前連絡なし

(3) その他

実施日時	訓練種別	参加者及び人数	備考
令和5.4.12 14:30～ 4.14 14:40～	防災研修	職員4名 職員2名	消防設備説明
7.19 14:00～	消火器訓練 (水消火器)	職員12名	水消火器取扱い訓練
8.12 14:00～	放水訓練	職員7名	消火栓取扱い訓練
10.25 14:30～	防災研修	職員3名	防災設備説明
11.20 10:00～	非常炊き出し 訓練	利用者46名 職員2名	非常食の提供方法と理解
令和6.1.28 14:00～	防災研修	全職員	防災に関する映像の上映
3.27 14:00～	防災研修	全職員	防災に関する映像の上映

[工房はたや]

- 1 多機能型事業所[就労継続支援B型、生活介護事業]として、適正な事業運営に努めた。
- 2 利用者の動向
男性 1 名、女性 3 名が利用を開始。
通所利用登録者 36 名（男性 17 名、女性 19 名）※新潟市 34 名 燕市 2 名
登録利用者の平均年齢は 39 歳、最年少 20 歳 最年長 71 歳となっている。
- 3 令和 5 年度の取り組み
 - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) インシデント・アクシデント報告を基にした、リスクマネジメント（安全対策）と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
 - (3) 授産作業として、養生シート洗浄作業・配管キャップ洗浄作業・デコニー袋詰め作業・密封クリップ袋詰め作業・封入・委託作業（新潟県・新潟市）を実施した。
 - (4) 法人入所施設にて委託作業（物品補充、在庫管理）を実施した。
 - (5) 近隣農園での農作業・福祉の店パレット販売業務の施設外就労を実施した。
 - (6) 事業所内共通行事は、8 月納涼会、12 月忘年会、1 月新年会、11 月～2 月グループ外出を実施した。
 - (7) 生活介護行事は、4 月花見、7 月七夕、10 月ハロウィン、12 月クリスマス、2 月節分、3 月ひな祭りを実施した。
 - (8) 避難訓練は 11 月と 3 月に実施し、防災意識の向上に努めた。
 - (9) 虐待通報を受け、毎夕のミーティング時に利用者支援における言動や行動等で不適切な対応はなかったか意見交換し、虐待防止に全職員で取り組んだ。
 - (10) B C P（業務継続計画）の作成
- 4 地域の社会資源として次のことを行った。
地域への美化活動として、ごみ拾い、除草を行った。
 - (1) 日中一時支援受け入れ状況 延べ 0 日
 - (2) 実習生の受け入れ状況 延べ 60 名
 - (3) ボランティア受け入れ状況 延べ 1 名
- 5 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議へは参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。定期的にオンライン講義を視聴した。
- 6 新型コロナウイルス感染症対策として次のことを行った。
 - (1) 感染発生時に備え、マニュアルの作成、感染対策用品の整備を行った。
 - (2) 利用者には毎日の検温と手指消毒を徹底し、事業所内は仕切り板を設置し常時換気、食事場所を分散し感染対策を継続した。

[わぁ〜らく]

1 指定特定相談支援事業、指定障がい児相談支援事業

(1) サービス等利用計画およびモニタリング作成実績 (単位/件)

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計	計
者	計画		15	26	20	18	18	16	13	21	7	18	14	20	206	946
	モニタリング		73	50	51	60	61	53	64	58	76	73	70	51	740	
児	計画		5	4	5	6	1	5	2	2	7	6	1	2	46	125
	モニタリング		3	5	9	4	6	7	4	7	9	8	8	9	79	

計画相談契約者数：304名（内、児童40名）※令和6年3月末日現在

※2022年度実績

者（計画） 191 （モニタリング） 639 計 830

児（計画） 45 （モニタリング） 80 計 125

（計画相談契約者数：337名（内、児童41名）※令和5年3月末日現在）

(2) 基本相談含む相談および支援等実績（延件数）：年間2,644件（内、児童659件）

2 指定一般相談支援事業

実績：地域移行 0件（退院）、地域定着 0件

3 市町村事業受託

(1) 新潟市障がい者基幹相談支援センター（平成30年度より、代表法人として受託）

新潟市障がい者基幹相談支援センター西運営コンソーシアムの構成法人として協定を結び、相談員1名、主任相談員兼障がい児支援コーディネーター1名、事務兼相談補助員1名出向。

※新潟市障がい者基幹相談支援センター西運営コンソーシアム構成法人

社会福祉法人自立生活福祉会、社会福祉法人新潟しなの福祉会

(2) 障害支援区分認定調査

新潟市（令和5年4月1日～令和6年3月31日、実績なし）

他 南魚沼市（実績1件）

4 地域での啓発活動

地域生活支援ネットワーク形成

新潟市地域自立支援協議会、新潟市西区地域自立支援協議会、新潟市西蒲区地域自立支援協議会等に参画し、ネットワーク形成に尽力した。

〔榿の木〕

- 1 共同生活援助事業として、適正な事業運営に努めた。
障害支援区分：区分6～5名、区分5～5名、区分4～8名、区分3～14名
区分2～8名、区分1以下～3名 平均区分：3.3
利用率：92.0%
- 2 利用者の動向
退所 4名 入所 7名
利用者の年齢は平均51歳8ヶ月（男性44歳6ヶ月、女性57歳1ヶ月）
最年少は21歳、最年長は74歳で、65歳以上の方は10名となっている。
- 3 令和5年度の取り組み
 - (1) 「もみじ」（定員7名）、「あじさい」（定員6名）、「ケアホームみずき野壺番館」（定員7名）
「ケアホームみずき野式番館」（定員5名）、「さくら壺番館」（定員6名）、「さくら式番館」（定員6名）
「さくら参番館」（定員6名）のニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) 支援にあたっては、家庭的な雰囲気大切に、入居者の誕生日や季節の行事などを実施した。また、生活全般においては可能な限りご自分でできるように助言、支援に努めた。
 - (3) 利用者の、毎日の健康チェック、定期通院や緊急時の通院、治療等、バックアップ施設や日中活動先の事業所と連携し健康管理に努めた。
夏季期間（7月～9月）は衛生面・水分摂取を考慮し、全ホームへ麦茶ペットボトルを定期購入し配分した。
 - (4) 防災対策として、ホームごとに避難訓練を実施した。
 - (5) BCP（業務継続計画）の作成
 - (6) 感染症対策として次のことを行った。
 1. 感染発生時に備え、感染対策用品の整備を行った。
 2. 職員はマスクの装着、手指消毒などの感染対策を徹底した。
 - (7) 令和6年3.19 榿の木事務所を総合支援センター内に移転した。
住所：新潟市西区みずき野1丁目6-11 TEL：025-211-2040
- 4 利用者の住環境整備のため以下の事業を実施した。
 - (1) さくら壺番館 エアコン修理 110,000円・198,000円
 - (2) さくら式番館 防犯カメラ取付 165,000円
 - (3) 床清掃 374,000円
 - (4) 防火キャビネット購入 171,000円
- 5 行事等の実施
地域の中のグループホームとして、地域行事の催し物に参加した。

【みつと】

1 活動内容

(1) 利用者（児）が居宅において、自立した日常生活を営むことができるように支援した。

(2) 地域や家庭との結びつきを重視し、関係市町村、他の障害福祉サービス事業所、地域の保健・医療・福祉サービスとの連携に努めた。

(3) 利用者の人権を尊重し、利用者の立場に立った適切な支援を提供した。

2 活動報告

(1) 居宅介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2022年度
利用延べ人数	12	12	12	21	22	20	19	18	20	21	17	18	212	181

(2) 同行援護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2022年度
利用延べ人数	22	18	26	8	17	26	22	19	14	14	19	16	221	241

(3) 行動援護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2022年度
利用延べ人数	20	9	17	22	20	20	26	27	24	24	22	18	249	198

(4) 移動支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2022年度
利用延べ人数	136	150	160	155	141	174	171	172	183	167	179	167	1,955	1,568

(5) 福祉有償運送事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2022年度
利用延べ人数	150	163	173	169	155	191	188	194	196	185	202	188	2,154	1,726
車両運行時間	71時間 45分	67時間 15分	76時間	76時間 10分	67時間 20分	81時間 25分	77時間	81時間 5分	83時間 15分	81時間 10分	85時間 10分	80時間	927時間 35分	653時間 55分
運行距離(km)	2,360	2,317	2,634	2,683	2,418	2,831	2,653	2,965	2,793	2,776	2,975	2,770	32,175	23,858

〔おおらい〕

- 1 生活介護事業として、適正な事業運営に努めた。
障害支援区分：区分 6～13 名、区分 5～12 名、区分 4～16 名、区分 3～8 名
平均区分：4.6
利用率：92.9%
- 2 利用者の動向
利用者の年齢は平均 47 歳 6 ヶ月（男性 43 歳 3 ヶ月、女性 54 歳 2 ヶ月）
最年少は 18 歳、最年長は 85 歳で、65 歳以上の方は 18 名となっている。
- 3 令和 5 年度の取り組み
 - (1) 令和 2 年 4 月 1 日、生活介護・日中一時事業所として開設し、利用者の安心・安全に配慮し、ゆったりと過ごせる空間の提供に努めた。
 - (2) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の作成と実践に努めた。
 - (3) 嚥下・咀嚼機能等個々の状態に合わせた形態での食事・おやつを提供した。
 - (4) 身体状況に合わせた 2 種類の浴槽で安心・安全な入浴サービスの提供に努めた。
 - (5) 大型モニターでインターネットを使用した活動やストレッチ体操、リハビリ、レクリエーション活動など楽しみのある活動の提供に努めた。また、利用者に合わせて個別活動や四季の行事等、季節を感じられる活動の提供に努めた。
 - (6) 1 日 2 回（朝・昼）利用者のバイタルチェックを実施した。
 - (7) 年 2 回（5 月 30 日、11 月 10 日）おおらい及び総合支援センター全体で避難訓練を実施し職員の防災意識の向上に努めた。
 - (8) 新型コロナウイルス感染防止対策として噴霧器、アクリルボード等設置、アルコール消毒剤、顔認証検温システム等整備した。また利用開始、終了時の徹底した清掃・消毒・換気を実施し感染防止対策を継続した。
 - (9) 新型コロナウイルス感染防止対策を施したうえで、事業を休止することなく、在宅障がい者（児）の受け入れを積極的に行った。
 - (10) BCP（業務継続計画）の作成
 - (11) 外部のボランティア、ヨガ教室（月 2 回）コンサート（月 1 回）、ピアノ演奏（月 2 回）について受け入れを継続実施した。
 - (12) 特別支援学校生徒の職場体験（見学等）の受け入れを実施した。
 - (13) 社会貢献活動（公益的取組）として越後赤塚駅舎の清掃を定期的実施した。
- 4 職員の資質向上を図るため定期的にオンライン講義を視聴し、毎月虐待防止・権利擁護研修を実施した。